

設計者による建築紛争の回避マネジメント

このテーマのキーワード	建築紛争、事件回避、設計者、規制・基準
関連するSDGs開発目標	 

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

建築紛争(例,右写真)において、事件数は減少傾向にあるものの、審理期間は増加傾向にある(下図)など、紛争の早期化が求められる社会と反する状況となっており、その改善が急務とされている。そこで、建築紛争に発展する仕組みを明らかにしたうえで、事業当初から関与する設計者における建築紛争を回避するマネジメントの提案を目的とする。

(概要)

- ・社会的に注目されている建築紛争の調査
- ・建築紛争で問題とされた部分の規制・基準経緯整理、分析
- ・建築紛争を回避するための設計者によるマネジメント提案

(期待される効果)

- ・安全・安心な建物の提供
- ・建築関係者への労力低減



朝日新聞2002/12/18夕刊

2022/03/23澤田撮影

建築紛争事例



裁判所に持ち込まれた事件数と審理期間の推移

想定される適用分野・用途・業界

- 建設業界
- 法曹界

産業界へのアピールポイント

- 経済的、精神的、時間的に負担のかかる建築紛争からの回避

建設学科 澤田 正樹 教授

このテーマに関するお問合せ ものづくり研究情報センター
E-mail : mric@iot.ac.jp TEL : 048-564-3880